

「多摩地域の防災拠点の機能強化に向けた検討会」において 外部有識者からいただいた主なご意見

＜第1回検討会＞

1. 日時

令和6年6月13日(木) 10時30分から11時30分

2. 主な議題

- (1) 多摩地域の防災拠点における課題と方向性について
- (2) 多摩地域の防災拠点のあるべき姿・基本理念と基本方針について

3. 検討会における主なご意見

- (1) 多摩地域の防災拠点における課題と方向性について

○立川地域防災センター

- ・執務室や仮眠室等のスペースが全般的に不足しているほか、小規模な諸室が分散しており、効率的な部屋割・執務空間となっていない。また、断熱性能や遮音性能も十分ではなく、バリアフリー対応になっていない。
- ・通信環境について、最新の技術動向に見合った設備となっていないため、技術の進展にも対応した施設整備を進める必要がある。
- ・災害時に活動する職員等の心身の健康を維持し、正常な判断ができるような執務環境を確保する必要がある。

○多摩広域防災倉庫

- ・防災備蓄倉庫機能について、空調負荷を考慮した温湿度のコントロール等、保管物資に応じたスペースの確保や手法を検討できるとよい。
- ・広域輸送基地機能について、発災時は他のトラックターミナルの被災状況等が不透明なため、保管容量に汎用性を持たせる必要がある。
- ・災害時物流の担い手として民間が活躍する状況を踏まえ、複数の民間主体が連携して活動することも想定する必要がある。

- (2) 多摩地域の防災拠点のあるべき姿・基本理念と基本方針について

- ・将来的な災害リスクに加え、温暖化等の気候変動も想定するなど、地震、火山噴火、複合災害等、あらゆる災害への対応を視野に入れるべきである。
- ・南海トラフ巨大地震等、他県に甚大な被害が及ぶ災害における対応も検討すべきである。
- ・平時においても防災に関する普及啓発を行えるような施設としての活用ができるとよい。

＜第2回検討会＞

1. 日時

令和6年8月8日(木) 16時00分～17時00分

2. 主な議題

多摩地域の防災拠点の整備の方向性等について

3. 検討会における主なご意見

- ・あらゆる災害に対応する防災拠点とするためには、現施設の改修ではなく、建替などの抜本的な見直しを行い、スペースの確保や設備の刷新が必要である。
- ・防災センター機能と防災備蓄倉庫・広域輸送基地機能を一体的に整備することについて、防災機能の相乗効果の発揮やライフラインの強化等、メリットを示すべきである。
- ・環境変化に柔軟に対応できるよう汎用性の高い施設・設備として、更新しやすい構造を検討できるとよい。
- ・施設の諸室配置やゾーニングについては、利用者の意見を反映することが重要である。
- ・災害時には安定的なエネルギーの確保が重要であり、自然エネルギーも活用しつつ、全体のエネルギー消費量を削減することが必要である。
- ・防災センター機能のセキュリティには十分留意し、諸室の配置や動線等を検討すべきである。
- ・施設の利活用については、都庁舎では実施できない研修や訓練等、整備後のキャパシティや設備を踏まえた活用ができるとよい。

<第3回検討会>

1. 日時

令和6年10月8日(火) 15時00分～16時00分

2. 主な議題

多摩地域の防災拠点の機能強化に向けた基本構想(案)について

3. 検討会における主なご意見

- ・ 基本理念と基本方針等の対応関係について、改めて整理しておいた方がよい。
- ・ 基本方針3「HTTの推進」について、災害時に安定的にエネルギーを確保できることが重要であるため、その旨を基本方針へ表現できるとよい。
- ・ 基本方針5「周辺施設との連携」について、構想本文の中でもう少し分かりやすく盛り込めるとよい。
- ・ 発災時にも都民へ着実に物資を供給するためには、多摩広域防災倉庫の工事期間中における代替施設の確保は重要であるため、基本構想にも可能な限り記載するとよい。
- ・ 平時の利活用については、その担い手として、民間組織等との連携も意識するとよい。